

# 市民公開シンポジウム

## ～登米市医療のあり方を考える～

人口減少、少子高齢化が進む登米市。その医療の一翼を担う病院事業において「医師不足がなぜ起きているのか」、「市民皆様の命と健康を守るために何が必要か」を市民の皆様と一緒に考える市民公開シンポジウムを開催しますので、ぜひご参加ください。

### 第一部 基調講演

登米市医療の現状・まちづくり・地域医療など3名の講師からご講演をいただきます。

#### 1. 登米市医療の現状と課題

登米市病院事業管理者 大内 憲明

1978年東北大学医学部卒、1999年同外科学教授に就任。2002年には副病院長として国立大学法人化に対応、2012年から同医学部長として教育・研究を牽引、地域医療にも貢献してきた。

#### 2. 公共交通及び都市計画から見た医療

宮城大学副学長・教授 徳永 幸之

「交通計画，地域計画，社会システム論」を専門としている。登米市総合計画審議会の会長や登米市病院事業における地域医療構想と公共交通あり方検討会の座長なども務めている。

#### 3. 地域医療を守るためにすべきこと

(独)山形県・酒田市病院機構理事長 栗谷 義樹

1998年から市立酒田病院院長に就任、2008年から(独)山形県・酒田市病院機構理事長を務める。独立行政法人化を機に経営改善を実現した病院として、全国から注目を集めている。

### 第二部 パネルディスカッション

～登米市医療のあり方を考える～

登米市医療の今後の方向性などについて、6名で議論をしていただきます。

パネラー 栗谷義樹 ((独)山形県・酒田市病院機構理事長)、徳永幸之 (宮城大学副学長・教授)  
大坂國通 (登米市医師会長)、須藤明美 (登米市の医療を考える会会長)、  
佐々木秀美 (登米市市民生活部健康推進課長)、松本宏 (登米市医療局長・登米市民病院長)

2018年10月6日(土) 登米祝祭劇場 水の里 大ホール  
開場 13時30分 開会 14時～17時

主催 登米市

後援 宮城県 登米市医師会 登米市歯科医師会 登米市薬剤師会

【問合せ先】登米市医療局経営管理部総務課 電話 0220-44-4795